

委員会運営方針

広報拡大委員会 委員長 芝 尚人

社団法人亀岡青年会議所は、地域に根差したまちづくりの団体として今日まで脈々とまちづくり運動が受け継がれてきました。その運動を礎に、今後もわたしたちが行政や地域、各諸団体の活動に積極的に参加し、今まで以上に地域社会と密接に関わりコミュニケーションを取れるような活動が必要です。一方的な発信ではなく、相互間で情報を共有し意見交換することで、より活発な運動を行い、亀岡青年会議所の魅力を伝えていかなければなりません。

広報拡大委員会では、協働による運動の輪を広げるため「魅力ある絆」をテーマとし、まちづくり運動の先頭に立つ亀岡青年会議所を発信してまいります。

対内紙「にのうみ」では、メンバー一人ひとりの活動や委員会の取組など亀岡青年会議所の活動を発信し、学びや気づきを共有することで内部充実を図れる紙面とします。「こんにちはJCです」第88号では地域の皆様に本年度の亀岡青年会議所の方向性や意気込みと、私たちの活動を発信し、今年度の魅力を理解して頂くことで、市民の皆様と共に、協働によるまちづくりにつなげる紙面とします。第89号では1年間のまちへの感謝と亀岡青年会議所の活動を報告することで、更なる魅力を伝え理解を深めていただける紙面とします。

ホームページでは、事業告知や活動報告を迅速に掲載し、魅力ある亀岡やメンバーを発信し、行政や地域、各諸団体の事業告知を行い、また、拡大状況を掲載し常時確認出来る様にします。自分達の活動に自信と誇りを持っていただき会員拡大にも活用して頂き、協働によるまちづくりの発信をすることにより、アクセスアップにつなげます。

4月メモリアル例会では、特別会員と現役メンバーが創始の心を再認識し、時代に応じた青年会議所の在り方等を語り合うことで今後の活動に繋がります。8月例会ではメンバーや家族のみならず地域の方々に事業に参加していただき、亀岡にある自然の魅力を肌で感じて、亀岡の自然環境を再認識し誇りを持っていただく事で、愛郷心と絆が増す交流をしていただきます。12月交流事業では、1年間の活動を振り返り、共に過ごした家族やメンバーが互いに労をねぎらうことで、更なる絆や感謝が生まれ、亀岡青年会議所への理解と魅力が増し、JC活動に邁進できる事業とします。

一年間の広報活動を通じメンバーに責任と自覚が増し、交流事業を行うことで行政や地域、各諸団体からの理解や信頼を得て魅力ある絆が芽生え、協働による運動の輪が広がり、会員拡大にもつながることで組織がさらに強固なものに発展すると確信いたします。

2012年度「だれよりも強くあれ」のスローガンのもと、亀岡青年会議所やメンバーの魅力を最大限に発信してまいります。メンバーの皆様、先輩諸兄の温かいご理解とご協力の程を心よりお願い申し上げます。委員会運営方針とさせていただきます。